

以下、本文-----

## 高齢術後患者の自己調節鎮痛法（PCA）に影響を及ぼす要因に関する研究

### 1. 研究の対象

2021年9月～2021年10月に当院で消化器外科手術を受けられ、硬膜外麻酔を使用した65歳以上の方

### 2. 研究目的・方法

術後の疼痛管理は患者にとって不快な感覚を除去するだけでなく、術後合併症の予防にもつながる。硬膜外鎮痛法は比較的少量の薬物投与で優れた鎮痛効果が期待でき、有効な鎮痛法といわれている。疼痛の状況に合わせて、患者自身がボタンを押すことで鎮痛薬の投与を施行する自己調節鎮痛法（Patient Controlled Analgesia：PCA、以下PCA）は海外から国内へと普及された。当院では2019年より消化器外科術後の患者に対し、硬膜外鎮痛法のPCA使用が開始された。近年増加傾向にある高齢術後患者もPCA使用の適応となるが、PCA使用が困難な患者が多い。そのため本研究は、高齢術後患者のPCA使用に影響を及ぼす要因を調査し、高齢術後患者のPCA使用の支援方法を検討することを目的とした。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢（年代） 性別 手の動き 目の見え方 不眠・不安の有無 手術歴の有無  
手術情報（開腹手術か腹腔鏡下手術のどちらであるか・手術にかかった時間）  
手術後のPCAの操作状況 手術前のPCAの説明に対する意見 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒507-8522 岐阜県多治見市前畑町 5-161

電 話 番 号：0572-22-5311

研究責任者：地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 看護部 生駒万耶子

-----以上